



すたペンドリル 昆虫の体のつくりと成長 2

昆虫の成長

昆虫によって育ち方が異なります。トンボのように、水中にたまごが産みつけられて水中で大きくなり、幼虫が水の中から出て脱皮し、成虫になる昆虫もいます。



成長の順番 (チョウ・ハチ・カブトムシなど)

モンシロチョウの育ち方

たまご
▼
幼虫
▼
さなぎ
▼
成虫

約 1mm

キャベツなどの葉にたまごが産みつけられる。

たまごからかえった幼虫は葉を食べ、脱皮をくり返しながら大きくなる。

幼虫が糸を出して葉にからだをくっつけ、皮をぬいでさなぎになる。

2週間ほどで、さなぎの表面にひびが入り、成虫が出てくる。

なに何も食べず動かない

カブトムシの育ち方

たまご
▼
幼虫
▼
さなぎ
▼
成虫

約 3~4mm

腐葉土や朽ち木の下にたまごが産みつけられる。

さなぎは、周りの腐葉土を食べて成長し、冬を越す。

それから1週間ほどで土の外に出て、活動を開始する。

2~3週間ほどで成虫になる。白いはねの色がだんだん濃くなる。

なに何も食べず動かない

成長の順番 (バッタ・トンボ・セミなど)

ショウリョウバッタの育ち方

たまご
▼
幼虫
▼
成虫

約 5mm

土の中にまとめてたまごが産みつけられる。

たまごからかえった幼虫は成虫の形にそっくり。体は小さくてはねも短い。

脱皮をくり返して大きくなり、はねのながい成虫になる。

クモやムカデなどは昆虫ではない生き物

クモやムカデなどは昆虫の特ちょうに当てはまらないので、昆虫ではありません。あしの本数がクモは8本、ダンゴムシは14本、ムカデはもっとあります。体も頭・むね・はらの3つに分かれていません。

